



患者さんの回復していく姿に
やりがいを感じています。

先輩看護師

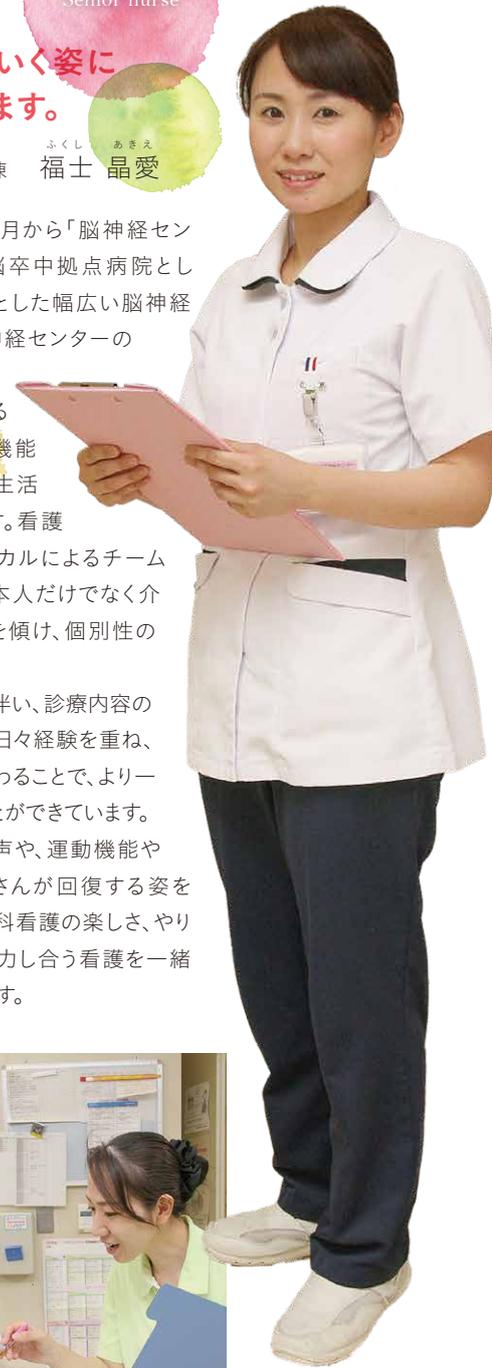
3階西病棟

ふくし あきえ
福士 晶愛

「脳神経外科」は、2019年4月から「脳神経センター」となり、埼玉県北部の脳卒中拠点病院として、急性期脳卒中患者を中心とした幅広い脳神経疾患を受け入れています。脳神経センターの中心病棟である当病棟では、意識障害があり生命危機にある患者さんへの急性期看護と、機能を回復し自立を促し在宅での生活に戻れるように支援しています。看護師のみならず、医師やコメディカルによるチームカンファレンスを実施し、患者本人だけでなく介護者となる家族の思いにも耳を傾け、個性のある支援を大切にしています。

急性期脳卒中患者の増加に伴い、診療内容の幅も広がり緊張の連続ですが、日々経験を重ね、経験豊富な先輩や先生方に教わることで、より一層専門知識・技術を習得することができています。

患者さんやご家族の感謝の声や、運動機能や高次脳機能障害のある患者さんが回復する姿を間近で感じる事が、脳神経外科看護の楽しさ、やりがいとなっています。私たちと協力し合う看護と一緒に学びませんか？お待ちしております。



看護部長からのメッセージ

信頼される看護師をめざして！

循環器・呼吸器病センターは、循環器・呼吸器系疾患の高度急性期医療を提供し、特に埼玉県北部の地域医療を担っています。近年は、感染症病床や腎・透析センター、脳神経センターの開設など機能の拡大に伴い、看護も新たな役割を担っています。

循環器疾患・呼吸器疾患看護は、特に生命の危機的状況での実践能力や精神的ケアが必要とされます。看護部は“患者さんの生命・権利を尊重し、信頼される看護部をめざす”を理念に掲げ、「確かな知識と技術」「患者中心」「安心・安全」「協働」「学習と成長」の5つを基本方針に挙げています。看護師一人一人が、患者さんの“いのち”に寄り添って、

最善のケアを提供できるよう取り組んでいます。

看護部では、確かな知識と技術で、患者さんへ安全、安心な看護が実践できる人材育成を目指しています。また、現在の超高齢社会において急性期医療を提供していくなかで、地域に必要とされている高齢者看護をより学び生かしていく実践力の習得を支援しています。

急性期の臨床では多くの実践力が必要とされますが、安心して下さい。皆さんをサポートする体制を整え、様々な研修プログラムを用意しています。看護部は、皆さんが循環器・呼吸器看護を通じ、人として、看護師として成長できるよう、全力でサポートをしていきます。



高橋 陽子
副病院長兼看護部長